

市議会の インターネット中継開始

12月定例会から実証実験を開始

仙北市議会では、より多くの皆さんに議会をご覧頂くために、インターネットによる議会中継の取り組みを始めました。
24年2月定例会は一般質問を中継する予定です。

仙北市ホームページ
トップページ

インターネット議会中継
(生中継・録画中継)

傍聴席

平成23年第7回仙北市議会定例会
インターネット実証実験の動画を見て



伊藤 博英(角館町)

私が視聴したのはライブでは無く、仙北市のホームページからのリンク先にアップされていた録画です。一括アップロードでは無く17編に分割されていて、2日間で視聴しました。

最初の6編は分割のタイミングが掴めなかったのか、休憩での区切り等が雑で「コマ切れ」感があり、議会の雰囲気を読み取りにくいものでした。7編あたりからある程度の「節目毎の動画」となり、ストレスを感じる機会が減少し「傍聴している」気分が生じます。逆に、画質の荒さが気になるという弊害も感じました。

動画公開についての感想なので、議会内容については控える事として記述したいと思います。

まず、生中継を見られなかった市民にとっては、非常に有効な方法であると思う。

しかし、市のホームページから動画サイトへ遷移するには不親切なリンクの張り方です。「トピック欄」には常に新情報が掲示され、旧トピックとして表示外となり一目では分からないリンクとなっています。

今回は「実証実験」だったので「トピック扱い」だったでしょうが、本格的に配信するのであれば別途「市議会動画配信」の項目を設けるのも

一つの手法ではないでしょうか？

市民にとっての関心事が審議されている場合であれば、サブタイトルで「〇〇の審議」等の説明を付け足す表示方法を一考される事を期待したいものです。

また「きたうら花ネット」がありながら、ユーストリームのサイトにアップしたのも疑問の一つです。「きたうら花ネット」のサーバーにアップしてリンク誘導をすれば「ノーカット配信」が可能だったのではないのでしょうか。勿論「休憩時間」等の審議に無関係な部分は編集してアップしてもらえれば「臨場感」はキープ出来ると思います。

いまや「国会中継」や「野球番組」でも複数カメラを駆使して「劇空間」化しての放映が一般的です。議案審議や討論の発言者のみを映すのではなく、発言を聞いている議員や担当市職員の表情アップ等を折々に映せば、臨場感が高まると思います。

他には録音についてですが、発言者のみのマイク収録では無いので「咳の音」や「雑音」が同音量で聞こえ、かなり耳障りな感があります。

単なる「記録の配信」では無く、あたかも傍聴席にいたと思わせる臨場感ある「市議会配信」となる事を期待して、私の感想とさせていただきます。

佐々木章 議員 逝去



佐々木章議員（仙北市角館町岩瀬町 68歳）は、去る平成23年11月14日、脳出血のため、秋田市の中通総合病院にて逝去されました。

故人は、昭和55年3月に角館町議会に初当選し、以来、合併後の仙北市議会も含め、通算9期、31年8カ月にわたる議員として活躍されました。その間、平成4年4月から平成8年3月まで、角館町議会議長、平成18年5月から平成22年4月まで仙北市議会副議長、またそれ以外にも、常任委員会における正副委員長や、大曲仙北広域市町村圏組合議会議長等も歴任し、長年にわたり町政・市政の発展にご尽力されました。ここに謹んでご冥福をお祈り申し上げます。



人事案件

○教育委員に坂本氏
任期満了に伴う後任の教育委員の任命案を全会一致で同意した。
市教育委員5名のうち、前教育委員の三浦陽一氏が平成23年12月20日に任期満了により退任、後任に英会話教室主宰の坂本佐穂氏（46歳）を任命することを全会一致で同意した。

○農業委員
平成23年12月19日に任期満了となる仙北市農業委員の選任に当たり、議会推薦の依頼があり、次の方々に全会一致で推薦した。

- 藤原 由悦氏（68歳） 田沢湖生保内
- 辻 均氏（63歳） 角館町八割
- 野中 秀人氏（63歳） 西木町松木内
- 黒沢 龍己氏（60歳） 角館町山谷川崎

後記

議会最終日の出来ごと
◇税の不正処理問題で、当時の不正行為を実行したとして、若い主事や主任に重い処分が下された。

この人達が自らの考えで実行したとは誰も思っていない。
議会の考え方も示されたが、問題の背景を全て明らかにしなければ、真の再発防止にはつながらないのではないかと。
◇次回の選挙から議員定数の削減、この4月から報酬を引き下げ案が可決された。

長い時間をかけて議論して来たが、「身を切る」議会改革実現は直前まで無理かと思われたが、急転直下、実現できたのは至難の業だったと言える。

(安藤 記)